



首都圏情報コーナー

長年の沿岸防犯活動に表彰状

南佐渡地区沿岸防犯協力会（会長 木村 富美雄さん）が、平成23年10月28日に「長年にわたり、地域安全活動に尽力し、安全・安心まちづくりに貢献した功績に対し」、関東管区警察局長および関東防犯協会連絡協議会長表彰を受賞されました。

木村会長は、平成6年6月に本会が発足して以来、沿岸防犯思想の普及高揚に努め、「密出入国、密輸の予防、水難事故防止、危険物の漂流・漂着の事故防止、救助等への協力」を呼びかけ、安全で平穏な佐渡づくりの核として意欲的に活動されています。



南佐渡地区沿岸防犯協力会 木村会長(写真右)

第6回 ふるさと再発見の旅「佐渡旅行」を実施!

恒例の首都圏佐渡連合会主催「ふるさと再発見の旅」は10月8日～10日、2泊3日の旅程で実施しました。

好天に恵まれた秋空のもと、参加者81名の観光団です。今回は7名～10名の3グループが参加しており、佐渡出身でない方で3年連続参加のグループもいます。準市民にも加入され「佐渡の応援団です」と、うれしいエールをいただいています。旅の効用でしょうか。

コース1日目：大佐渡石名天然杉トレッキング→(相川泊・懇親会)

2日目：小木海岸・南仙峡→小木海運資料館→大滝楽舎→(昼食) 大崎そば(大崎活性化センター)→妙宣寺(五重塔)→大膳神社(能舞台)→真野新町、旧家めぐり・山水庭園観賞と茶会参加→(自由泊)

3日目：両津港に集合後、新潟港にて解散。

話題の天然杉林と南仙峡は時が刻む大地の景勝です。また、羽茂・大滝楽舎での山村資料と、国中・真野新町の旧家の見学等々で、佐渡の暮らしと文化を味わうことができ奥行きのある、てんこもりの「ふるさと再発見の旅」でした。参加者においしいと好評の大崎そばの会、ご自宅を開放しておもてなしいただいた真野新町の旧家の方々、真野商工会のご協力で御礼申し上げます。

(文責：佐渡市東京事務所 名畑榮雄)



ホテル万長・懇親会にて高野市長、金光市議会議長を囲んで

随想

ゆめ飛行 No.61

佐渡市長 高野宏一郎

「離島振興法の改正・延長に向けて」

11月14日は離島振興対策都道府県議会議長会の全国大会が、翌15日には全国離島振興市町村議会議長会の全国大会が東京で開催され、両大会には私も全国離島振興協議会会長として来賓挨拶をいたしました。市町村議会議長会には金光議長が出席者を代表して力強く離島振興に関する決議文を読まれました。

来年度で今の離島振興法が10年の時限を迎えることから、全国離島振興協議会では25年度から始まる新しい離島振興法の骨子を昨年1年かけて議論検討を行い、今夏に国会の各政党へ報告書として提案いたしました。

その柱の一つには、昭和28年から営々と離島を支え続けた離島振興法(議員立法)の有効期間を、恒久化も視野に入れ最低10年延長すること。二つには、今までの改正以上に島の生活を安定させる抜本的な定住施策などを盛り込んでいます。幸いこの法律は今まで原則与野党が賛成して立法化がなされていますので、この大会を機に本格的な各政党間の協議に入ります。

日本の島々には人が住む有人離島が約420あります。戦後、本土への返還順に沖縄諸島には沖縄振興特別措置法、奄美・小笠原諸島には奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特別措置法が制定されていて、佐渡、粟島に適用される離島振興法は262の島々に適用されています。

この後、年末までには各政党の意見調整がなされて、年明け1月までには衆議院法制局に提出され法案化ののち、来年の国会で承認される予定になっています。

※10月号の「飛べ!ダコタ」の記事について訂正します。マッカーサーが厚木に降り立ったのはダコタのDC-3ではないとの指摘がありました。調べてみますとその通りで、実はDC-3の後継機DC-4(C-54)でした。申し訳ありませんでした。

(題字 高野宏一郎)

